

ドストエフスキーと ロシア的悲劇の根源

ロシア文学者
名古屋外国語大学学長

亀山郁夫

ロシアとは何か。そして、世界の耳目をいまだに揺るがし続けるウクライナ侵攻とは何なのか。プーチンそしてロシア人一般のメンタリティの根本に潜む思考様式とはどのようなものか。

本講演では、ロシアの文豪ドストエフスキーの作品や思想を手掛かりとして、謎に満ちたロシア的精神の根源に迫りたい。

2024 / **7/14**(日)

申込開始 **6/9(日)**

時 間 14:00~16:00

開 場 13:30

会 場 塩尻市市民交流センター
(えんぱーく)

3階 多目的ホール

定 員 130人 (先着順)

参加費 無料

申し込み方法

本館総合カウンター、メール、
電話 (0263-53-3365) のいずれか。

メールの場合は次の内容をお送りください。

宛 先 tosho@city.shiojiri.lg.jp

件 名 「7/14 本の寺子屋申込」

本 文 1 参加者全員の氏名 (フリガナ)

2 代表者電話番号

3 お住まいの地区

4 この講演会を知ったきっかけ
(広報、チラシなど)

亀山 郁夫 (かめやま いくお)

1949年、栃木県生まれ。名古屋外国語大学学長。世田谷文学館館長。日本芸術院会員。ロシア文学者。平成14年に「磔のロシアスターリンと芸術家たち」で大佛次郎賞、平成19年に翻訳「カラマーゾフの兄弟」で毎日出版文化賞特別賞、プーシキン賞を受賞。平成24年に「謎解き『悪霊』」で読売文学賞受賞。ドストエフスキーの新訳では、他に「地下室の記録」「罪と罰」「悪霊」「白痴」「未成年」がある。また2015年に自ら最初の小説となる「新カラマーゾフの兄弟」を刊行。

